

仏教とお寺をやさしく解説

# さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2022年12月  
第51号  
(年4回発行)

新年号

発行部数3千部



ハレの日、ケの日／丹羽住職インタビュー

シリーズ浄土宗／選択本願念仏集

実践教室／仏さまを敬う心「供華」

七福神めぐりウォーキング（新年開運七草粥の会）ご案内

厄払い節分会法要のご案内

## 「ハレの日、ケの日」

「ハレ」と「ケ」は、民俗学者・柳田國男が提唱した日本の伝統的な世界観の一つです。『ハレ』の日にあたる大晦日やお正月は私たちの生活の中でどのような意味を持つのでしょうか。丹羽住職にお話しを伺いました。



十三夜お月見チャリティーコンサート (R4.10.7)



問 二〇二二年もあとわずかととなり、一年を振り返るとコロナ禍による影響はまだまだ続いています。停滞していた社会生活も私たちの心の中での日常が戻りつつあるように感じるのですが…。

住職 そうですね。一時の完全に止まってしまった状況から少しずつ動き出したのではないのでしょうか。

問 お寺の行事もコロナ前に戻ったのですか？

住職 はい。前と全く同じにという訳にはいきませんが、行事自体は彼岸会、施餓鬼会、お盆会と先日はお月見チャリティーコンサートも開催しました。コンサートでは、ギターの演奏にあわせフラメンコを踊ってもらったのですが、終わりのほうでは、簡単な動きの踊りを習って皆で踊ったりもして（笑）。

問 お寺とフラメンコの組み合わせは、なかなかない事ですし、参加された方は非日常の体験を楽しめましたね。

住職 年が明けると西願寺では、七草粥ウォーキングラリーや節分会と皆さんが参加できる行事が続きますのでコロナウィルスの状況にもよりますが、そちらにも足を運んで欲しいと思います。

問 日常と非日常の話で言うと、以前、年中行事や冠婚葬祭など非日常が『ハレ』でハレ以外の日常

がッケ」の日というお話しを伺いましたがお寺の行事もハレになるのでしょうか？

**住職** そうですね。法事などもそうだと思います。ッハレ」は節目となる非日常の時間や空間を指す言葉ですが、語源は折り目や節目を表す「晴れ」だそうです。今は、お天気が良いときに言いますが、昔は長雨が続いた後に天気が回復して晴れ間がさしたような節目に当たる日についてだけ「晴れ」としていたのだそうです。

**問** ハレの日は良い日・吉日、ケの日は穢れの意味で悪い日かと思っていました。

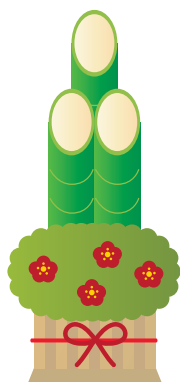
**住職** ケの日は、ハレ（非日常）以外の日でつまり普段の日（日常）の事です。ケガレは、普段の生活（ケ）を送る活力が「枯れた」状態を指すという説もあるようです。ケが枯れた状態をハレの日でリセットする感じなのでしょう。彼岸会などお寺の年中行事で日々の生活を反省し気持ち新たに誓

いをたてるというのと同じですね。また、法事では葬儀や回忌法要を重ねることでそれを節目に少しずつ気持ちを切り替えていくことができるのではないのでしょうか。

**問** 除夜や元日もハレの日にあたると思うのですがどのような気持ちで迎えるべきでしょうか？

**住職** 除夜というのは、古い年を取り除くという意味からきているらしいのですが、今年一年の反省と無事に過ごすことが出来たことへの感謝の気持ちで新しい年を迎えたいですね。

**問** 一年の反省を踏まえ新たな気持ちで新年を迎えたいと思います。今年も一年間ありがとうございました。新年もよろしくお願ひします。



## 質問箱

喪中のお正月はどのように過ごせばいいのですか？ お正月行事に参加してはいけないのですか？

**答** 喪中とは、本来「忌」と「服」の二つの期間から構成される言葉で、故人の死を悼む期間です。死者を弔う姿勢を重んじて一定期間、贅沢や祝いごとなどは避けて身を慎みます。（明治7年に出された太政官布告では、忌（忌中）と服（喪中）の期間をこゝ細かく定められていましたが、そうした法令も昭和二十二年にすべて撤廃されています）親族の死を悼んで遊びや笑いを慎み、酒肉を断つて謹慎するのが本来の喪中の過ごし方。現在では、葬儀が終われば普段と同じ生活をするようになりますが、お正月のめでたさを祝うのは慎むのがよいとされています。しかし、めでたさを祝うことだけでなく、今年一年、心正しく過ごすことを誓うのがお正月ですから、寺院のお正月の行事に参加してもよいのです。

## 法然上人の著した浄土宗の根本経典 「選択本願念仏集」



建久九年（1198）法然上人は、上人に深く帰依していた一人、関白を務めた九条兼実の「宗門の教えをまとめてほしい」という懇請に応じて上人の主著となる「**選択本願念仏集**」（**選択集**）の筆を執りました。



「南無阿弥陀仏、往生之業、念仏為先」

「**選択本願念仏集**」は**選択集**とも呼ばれ二卷十六の章からなり、その内容は、念仏の教えを説き示した浄土三部経や阿弥陀仏によって**選択**された**本願念仏**に関する要文を集め、それらを通して**仏道修行**のすべては**称名念仏**の一行にあると明らかにしたものです。

冒頭に「南無阿弥陀仏、往生之業、念仏為先」（極楽往生するためには、なによりもまず念仏が大切である。）と念仏往生の宗義を表示し、各章ごとに、浄土三部経の経文を引用し、それに対する善導大師（中国浄土教の僧）をはじめとする祖師の解釈を引き、さらに法然上人自身の考えをのべています。

この中で上人は、一切の仏教を聖道門（修行をして悟りをひらく）と浄土門（極楽浄土への往生を目指す）に分け、すべての人々が平等に救われるのは浄土門だけであるとしました。

称名念仏以外の仏道修行をすべて捨て去るという革命的な内容であったため、書写が許されたのは、信頼のおける門弟だけで、この書を献上した兼実にさえも閲覧後は人目のつかないところに隠し置くようにしていました。

あらゆる階層の人々に広まった**念仏の教え**

厳しい修行を積んで悟りを開いた者にしか得られないとされていた**既成仏教**に対し、念仏を称えさえすれば**阿弥陀仏**によって極楽に往生できるという**法然上人の念仏の教え**は関白や武士、盗人、遊女まであらゆる階層の人々に広まっていきました。「**選択本願念仏集**」は、貴族の身分と富力によって独占されていた**仏教**を民衆に開放することになった**浄土宗**の歴史の中で画期的な意義をもつものとされて**浄土宗の根本経典**と言われているのです。



仏さまを敬う心

「供華（くげ）」

年の瀬には、我が家の大掃除と共に  
お仏壇もきれいに整え、お正月らしい  
お花を活けて新年を迎える家庭も多い  
のではないだろうか？ 仏前に供え  
荘厳する花を供華といひ、仏さまを敬  
う心、感謝の気持ちからお供えをし  
ます。



仏教の中で、お花はお釈迦さまがご  
存世の頃から盛華や散華など様々な方  
法でお供えされました。盛華は籠など  
に花びらを盛ることで、散華とは摘み  
取った花びらを舞い上げて空中に散ら  
すものです。

日本では、この散華が法要儀式など

で作法として行われます。その時には、  
華葩けはと呼ばれる美しい紙製の花びらを  
使って行われています。

また、日本では、盛華などではなく  
花瓶にお花をお供えするのが一般的で  
す。仏前にお供えされた四季折々の花  
その一つひとつの精一杯のいのちを通  
して、阿弥陀さまの限りないのちに  
気づかせていただきましょう。

お供えするお花は花屋さんで売られ  
ているのにも限られているのではなく  
庭に咲いた花や摘んできた花を生けて  
もよいのです。ただ、毒々しい色のも  
のや、とげのある花、毒のあるものは  
たとえ美しかったとしても仏花にはふ  
さわしくありません。



暮らしの中の  
仏教語

「退屈」【たいくつ】

「今日も一日家に居た…。あ～ヒマ。退屈～」と嘆いて  
いる人はいませんか？

することがなくて時間を持って余す事や飽き飽きして嫌気  
がさす事などを言ったり、またおもしろみがないことを「退屈な話し」などと言うことが  
ありますよね。さて、この「退屈」という言葉、これも元々は仏教の言葉なのだとか…。  
修行僧が悟りを得るための修行の中でぶつかる大きな壁に心や行動が衰えてしまい（後  
退）、目の前の困難に屈してしまうことを「退屈」と言ったそうです。

そういえば、私たちも「する事が無くて退屈」なのではなく、やるべきことから逃げて  
「退屈だ」と口にしてしている時もありそうですね。



## 遊馬・柳島 七福神めぐりウォーキング (新年開運七草粥の会)のご案内

日時 令和5年1月7日(土)  
※10:00~12:00の時間内で  
巡っていただきます。

参加費 100円 (※保険料として)

新年開運七草粥の会は、楽しくウォーキングを行いコース内七か所の寺社寺院を巡り御朱印を頂く会です。ゴールの西願寺で七草粥が振舞われ、参加者の方に記念品が手渡されます。お気軽にご参加ください。



## 厄払い節分会法要 (豆まき)のご案内

日時 令和5年2月3日(金)

10:00 受付  
10:30 節分会法要  
11:30 豆まき (予定)

令和5年度に前厄・本厄・後厄にあたる善男善女の方は是非お申込みください。

冥加料 10,000円 (祈祷料/会食)

※尚、豆まきのみのご参加は、浄財としてお賽銭(灯明料)をお願いいたします。



## 第13回 西願寺 お月見チャリティーコンサート 報告

去る10月7日、西願寺本堂にて毎年恒例のお月見チャリティーコンサートが開催されました。今回は、いつもと趣の違うスペイン音楽の夕べとしてフラメンコ舞踊とギターの演奏が披露されました。

ご参加の皆さんも一緒にプチフラメンコ教室も開かれ、楽しい夕べとなりました。



参加ご希望の方は、お気軽にお問合せ・お申込みください。

西願寺 TEL. 048-925-1723 FAX. 048-925-1789

# 掲 示 板

## 彩の都メモリアルパーク管理事務所 年末年始休業のお知らせ

### ◆年末年始休業日◆

令和4年12月28日(水)～

令和5年1月4日(水)

年末年始の休業期間は管理事務所における事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。尚 墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。



彩の都メモリアルパーク管理事務所  
TEL.048-921-4194 FAX.048-921-4195

## 西願寺 令和5年 年間行事案内

- ◎毎月25日 18時～別時念佛会
- ※1月1日(日) 修正会 (新年をむかえての法要=お勤め)
- ◎1月7日(土) 開運七草粥の会・七福神巡り
- ※1月25日(水) 法然上人御忌
- ◎2月3日(金) 節分会 (豆まき厄払い)
- ※2月15日(水) 涅槃会 (お釈迦さまの命日)
- ◎3月18日(土) 春の彼岸会  
～24日(金)
- ※4月8日(土) 灌仏会 (花まつり)
- ◎5月25日(木) 大施餓鬼会
- ◎7月13日(木) お盆会  
～15日(土)
- ◎8月6日(日) 合同新盆供養
- ◎8月13日(土) 旧盆会 (13日合同盂蘭盆法要)  
～15日(月)
- ◎9月20日(水) 秋の彼岸会  
～26日(火)
- ◎10月27日(金) 十三夜お月見コンサート
- ※11月23日(木) 十夜会 (念仏をとなえて善根をつむ法要=おつとめ)
- ※12月8日(金) 成道会 (お釈迦さまのお悟りの日)
- ※12月25日(月) 仏名会 (念仏をとなえて一年を反省する法要=おつとめ)



◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。  
※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要=おつとめです。

## 令和5年 年回表

一周忌	令和4年逝去
三回忌	令和3年逝去
七回忌	平成29年逝去
十三回忌	平成23年逝去
十七回忌	平成19年逝去
二十三回忌	平成13年逝去
二十七回忌	平成9年逝去
三十三回忌	平成3年逝去
三十七回忌	昭和62年逝去
五十回忌	昭和49年逝去
百回忌	大正13年逝去



■お便り募集■  
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、ど、ごちそうお気軽にお寄せください。

### ◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部  
東京都千代田区麹町二・十・三・一〇二  
F A X 0 3 ( 6 2 6 5 ) 1 3 0 2 Mail : info@io-comet

### ■次号予告

次号は令和五年二月発行予定の「春号」です。



#### ◆編集後記◆

今号のインタビューでは「ハレとケ」についてご住職にお話しを伺いました。ハレの日の行事は私たちの生活の衣食住に大きな変化がある事が特徴とのこと。確かに晴れ着を着たり、行事に合わせた特別なお料理を食べたり、門松、鏡餅、それぞれの節句のお飾りなど普段とは違うその日を迎えるお気持ちの変化を感じて一年を通した暮らしの中にメリハリが生まれますよね。お正月はハレの日の代表みたいなものですが、その迎え方過ごし方は家庭によって、人によって様々。私の場合は、お節やお餅、美味しい日本酒…とひたすら御馳走を食べる日々、七草粥を食べる頃にやっとお正月気分が抜ける感じでしょうか(笑)。「私も同じ」と思われた方! 西願寺の「七福神巡りウォーキングラリー」は、お正月中のなまっただからだに効くかもしれません。ご興味のある方はお気軽にご参加くださいね。それでは、皆さま良いお年をお迎えください。新年もどうぞ宜しくお願い致します。

#### 発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三二 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部